

平成25年度事業計画書
(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

1. 学術研究助成事業

感染症の基礎的あるいは臨床的研究及び感染症に関する疫学的研究を行っている若手の個人を対象に、一般細菌感染症、ハンセン症、リケッチア症、寄生虫病などの研究課題に対して、公募により得られた研究計画を審査選考のうえ、本年度は第40回目の研究贈呈者を決め、3月に贈呈する。

総額800万円(1件100万円)予算計上。

2. 顕彰事業

顕彰事業である次の各賞について、公募推薦された個人を審査選考の上、表彰を行い当該事業における一層の拡充を図る。

(1) 「大山健康財団賞」第40回

発展途上国において、長年医療協力に尽くし、特に感染症対策に尽力した医療関係者個人に対し、表彰状、メダル、副賞(100万円)を贈呈する。

(2) 「大山激励賞」平成25年度

大山健康財団賞に準ずる功績のあった医療関係者を対象とし、今後一層の活躍が期待される個人に対し、表彰状、副賞(50万円)を贈呈する。

3. 学術集会支援事業

本年度は下記の学術集会に対し助成する。

(1) 第27回 Bacterial Adherence & Biofilm 学術集会に助成。50万円予算計上

開催月日：平成25年7月12日(金)

開催場所：東京ガーデンパレス

Bacterial Adherence & Biofilm 研究会は細菌の付着性やバイオフィルム形成など細菌の病原性に関する学術研究に従事する研究者により構成されていて、毎年1回学術集会を開催し、会員間の学術交流を促進させるとともに、関連領域における優秀な研究者による特別講演、シンポジウムが企画され、当該領域の最新知見の紹介を行っている。

(2) 平成24年11月10日開催した橋本イニシアチブ15周年記念(顧みられない熱帯病)国際シンポジウムの記念誌作成に助成。20万円予算計上

4. 年報作成

平成23年度大山健康財団賞受賞者の紹介及び学術研究助成金贈呈者の業績報告集(年報No.38)を作成することとし、35万円予算計上。

5. 寄附金

国際医学研究会(慶應義塾大学医学部学生組織)の第36次派遣団の下記の活動に寄附をすることとし、30万円予算計上。

同研究会は、1978年より毎年南米を中心に世界各地に医学生を派遣し、国際医療活動を行っている団体であり、平成25年度は下記の予定である。

訪問日程：平成25年7月13日～8月30日

訪問国：メキシコ、ペルー、ブラジル

活動内容：

メキシコ：地震多発国メキシコと日本の災害医療に関する現状比較

ペルー：現地病院見学、医療施設訪問、結核を中心とした現地医療調査

ブラジル：アマゾン河巡回診療船に同乗、現地子供に対しての健康診断実施、
現地病院視察他